

～広がるシーズ!新たなる可能性～ 私達の研究を紹介します



問合せ窓口
TEL:(0766)56-0604
(地域連携センターコーディネーター)



HP:tpu-liaison@pu-toyama.ac.jp



機械システム工学科
教授・川上 崇



機械システム工学科
講師・木下 貴博



情報システム工学科
教授・鳥山朋二

◆研究分野◆

固体の（材料）力学に立脚し、ハードウェア商品が使用中にどのように変形をしたり、応力やひずみが発生するかを正しく予測する技術を開発します。部材が破壊したり、機能を喪失したりすること設計段階で未然に防止することを目指します。

◆研究テーマの活躍フィールド◆

携帯電話やパソコンなど電子機器の機械的な強度信頼性評価技術を研究してまいります。当技術は電子機器のみならず、エレクトロニクス化の進む自動車産業においても幅広く活用出来ます。

◆経歴◆

1981年
東京工業大学大学院
理工学研究科博士課程修了
1981年
株式会社 東芝
2007年
株式会社 東芝
リサーチコンサルティング
2008年
富山県立大学

◆Message◆

産学連携により、社会のニーズを把握し、技術（シーズ）の開発に努めます。材料試験技術とコンピュータシミュレーション技術を有機的に組み合わせ、強度信頼性を向上し、安全・安心な社会を実現することに貢献します。

(50音順)

◆研究分野◆

材料の変形や破壊現象について、原子の挙動を対象とした数値シミュレーションを用いてメカニズムを明らかにし、新材料の開発を支援します。

◆研究テーマの活躍フィールド◆

材料中に存在する格子欠陥（転位や粒界）の挙動を数値シミュレーションすることで、変形や破壊をはじめとする材料の機械的な強度特性を議論し、材料開発の進むべき方向を調べます。

◆経歴◆

2000年
熊本大学工学部
知能生産システム工学科卒
2005年
熊本大学大学院
自然科学研究科博士後期課程
生産システム科学専攻修了
2005年
熊本大学
21世紀COEプログラム
博士研究員・COE教員
2008年
富山県立大学

◆Message◆

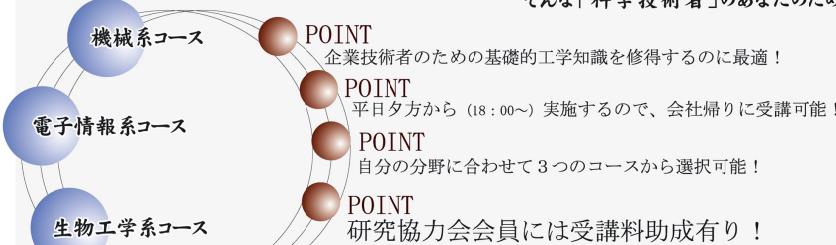
材料の変形・破壊現象のまさにその瞬間に原子レベルで捉えることは、材料開発にとって重要です。しかし直接観察することは困難であり、原子系の数値シミュレーションが大きな役割を担うことになります。反面原子の挙動はマクロな連続体としての挙動とも強く干渉しており、原子系から連続体までのマルチスケールシミュレーション技術の開発が望まれています。これを目標に、系統的な材料の変形・破壊現象への解明にアプローチしていきたいと考えています。

Information

予告 ~やっぱり基礎は大事だよね~

若手エンジニア ステップアップセミナー

基礎的工学知識を修得したい…でも、日中に時間がないし、費用もかかる
そんな「科学技術者」のために!!



企業技術者のための基礎的工学知識を修得するのに最適!

平日夕方から(18:00~)実施するので、会社帰りに受講可能!

自分の分野に合わせて3つのコースから選択可能!

研究協力会会員には受講料助成有り!

8月新規開講予定、7月より申込開始!

Let's Skill Up !



ダ・ヴィンチ祭 2008

◆主催 富山県立大学/射水市教育委員会/富山テレビ放送

本学では、子どもたちの科学への興味や関心を高めるための科学イベント「ダ・ヴィンチ祭」を本年も開催します。
皆様のご協力、ご支援をお願いします。

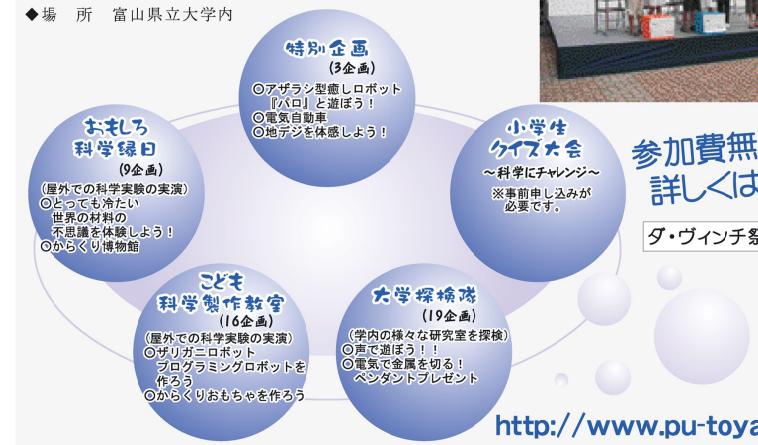
◆日 時 平成20年8月2日(土)
10:00~15:30

◆場 所 富山県立大学内



参加費無料!
詳しくはWEBで!!

ダ・ヴィンチ祭 | 検索



<http://www.pu-toyama.ac.jp>